

### 総合評価

	カテゴリ	重み付け	自己評価	評価者の見積もり
		(%)		
s I	地質と景観			
s I.1	領域	5	0	0
s I.2	地質保全	20	0	0
s II	運営・管理体制	25	0	0
s III	情報と環境教育	15	0	0
s IV	ジオツーリズム	15	0	0
s V	持続可能な地域経済	10	0	0
s VI	防災・減災	10	0	0
	計	100	0	0

### 評価者

氏名	所属・役職	日付
氏名	所属・役職	日付

s I.1 地質と景観：領域

2. 保全戦略		配点	自己評価	評価者採点
1.1	各ジオサイトについて、保全や活用を進める上での基本情報（科学的価値の根拠、位置情報、範囲、その場所の土地所有者、利用・管理の実態、存続危険性、保全の重要性、保全に関する法的措置の有無、保全の担い手、その他の個別課題など）が整理されている。	10		
<b>最大</b>		<b>10</b>	0	0
4. 保全戦略		配点	自己評価	評価者採点
4.1	各ジオサイトにおいて、専門家、地域住民や保全活動を行う団体、当該サイト関係者による定期的なメンテナンスとモニタリングが実施されている。	10		
4.2	サイトに劣化が認められた場合、それに対処するための専門家・研究機関、地域住民・観光業者などの利害関係者が参加する保全に関する協議の場がある。	10		
4.3	自然劣化がすすみ、その価値が失われてしまう場合に、その価値が保全される方策がとられているか	10		
<b>最大</b>		<b>30</b>	0	0

項目	解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			40	0	0

## s I.2 地質と地形：地質保全

1. 領域		配点	自己評価	評価者採点
2.1	ジオパーク全域ならびに各ジオサイトについての、地域の諸事情（自然環境、法令等の有無、利害関係者の状況など）を考慮した保全計画があり、それに基づいた保全方法（担い手や手法などが明確）で、保全が実施されている。	保全WGガイドラインによる。	100	
		<b>最大</b>	<b>100</b>	0

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			100	0	0

## s II 運営体制

1. 運営体制			配点	自己評価	評価者採点
1.3	円滑な運営に必要な数と雇用環境が確保されているか？		10		
<b>最大</b>			<b>10</b>	0	0
3. 計画に以下の項目はあるか			配点	自己評価	評価者採点
3.1	地球遺産（ジオサイトと景観）	ジオサイト保全と活用についてのビジョンと計画。保全・活用すべきジオサイトが整理されているか。	10		
3.2	その他の自然・文化遺産	自然遺産、文化遺産についての保全・活用のビジョンと計画	10		
<b>最大</b>			<b>20</b>	0	0

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			30	0	0

sⅢ 情報と環境教育

1. 地球科学の研究、情報、教育科学活動			配点	自己評価	評価者採点
1.1	平易にアクセスできる地域内の学術研究の成果をまとめたデータベースがある。		10		
<b>最大</b>			<b>10</b>	0	0
2. ジオパークのエリア内での環境教育プログラム			配点	自己評価	評価者採点
2.1	社会教育・生涯学習プログラムを実施しているか。		10		
<b>最大</b>			<b>10</b>	0	0
5. 団体旅行など、学校集団向けの地球科学の提供			配点	自己評価	評価者採点
5.1	活動主体がトレーニングとプログラムを支援する、ガイド団体やフリーランスのガイドツアー		10		
<b>最大</b>			<b>10</b>	0	0
項目			日本版としての解説	基準	
			配点	自己評価	評価者採点
			30	0	0

sIV ジオツーリズム

1. どのような宣伝素材が利用できるか		配点	自己評価	評価者採点
1.1	ウェブサイト	20		
<b>最大</b>		<b>20</b>	0	0
8. 観光客向けのガイド事業が実施できる人材の育成や環境整備		配点	自己評価	評価者採点
8.1	ジオパークの理念を学ぶための機会を提供している	10		
8.2	地質学や地形学の知識を得るための機会を提供している	10		
8.3	大地と人と自然のつながりに関する知識を得るための	ガイド8項目を参照	10	
8.4	インタープリテーションの技術を得るための機会を提供している	ガイド8項目を参照	10	
8.5	リスクマネジメントの技術を得るための機会を提供している	ガイド8項目を参照	10	
8.6	地域の観光戦略の中にガイド事業を継続させるための施策が盛り込まれている		10	
8.7	ガイド事業を継続させるための各種支援を行っている		10	
<b>最大</b>		<b>70</b>	0	0
9. ジオツーリズム商品を開発し、販売を促進するための工夫		配点	自己評価	評価者採点
9.1	提供しているジオツアーはジオパークのジオストーリーやテーマを表現している。	20		
9.2	ジオツアーの拡充に取り組み、収益を上げている	10		
9.3	ジオパーク内に旅行業の資格を持つ企業・団体もしくは個人がおり、協力関係にある。	10		
<b>最大</b>		<b>40</b>	0	0

項目	日本版としての解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			130	0	0

## s V 持続可能な地域経済

1. 持続可能な地域経済			配点	自己評価	自己評価
1.1	ロゴマークやマスコットキャラクターの利用に関するルールがあるか		10		
1.2	ロゴマーク・マスコットキャラクターがいる場合の使用基準はあるか。		10		
1.3	ロゴマークやマスコットキャラクターを通してジオストーリーやテーマを社会に伝えているか		10		
1.4	商品パッケージやサービス内容にジオパークのストーリーやテーマが明確に記されているか		10		
1.5	申請機関が「ジオパーク」の名称利用に関して厳格な運営ルールを持っているか		10		
1.6	伝統工芸品・伝統文化をジオストーリーでの位置付けやテーマとの関連性を示しているか		10		
1.7	地域の伝統工芸品・伝統文化の販売（市場開拓・市場戦略）と技術継承や文化継承を支援しているか		10		
1.8	地域の人が経済的、精神的満足度を得ているか（ジオパークでお小遣いを稼いでいるか）？もしくは、面白がっているか？		10		
1.9	ジオパークに生きがいを見出している人がいるか？		10		
1.10	地元企業・団体と定期的にコミュニケーションをとり、情報共有をして、多様な参加者による自由な経済活動を支援しているか		10		
1.11	悩んでいる地元企業・団体、個人に対して、申請者が適切なコンサルテーションが提供できる団体・個人を紹介しているか、もしくは、申請者が相談業務を実施しているか		10		
1.12	地域内外の人との協働が結果としてボトムアップのジオパーク形成になるよう工夫しているか		10		
1.13	ジオパークが様々な立場の地域住民が自由に発言できる場を積極的に設けているか		10		
<b>最大</b>			<b>130</b>	0	0

項目	解説	基準	配点	自己評価	自己評価
			130	0	0

sVI 防災・減災

1. ジオパークエリアで起こる（起きた）自然災害に関する情報の取り扱いについて			配点	自己評価	評価者採点
1.1	過去の自然災害の証拠である露頭などや、災害経験を伝える記念碑や災害遺構など、自然災害をテーマにしたサイトがある。		10		
1.2	過去にエリア内で発生した、記録の残る自然災害に関するリスト等がある（地域で起こりうる自然災害の特性を把握しているか？）		10		
1.3	ガイドや災害の語り部が、過去にエリア内で起きた自然災害や、その発生要因をジオツアーの中で紹介している。		10		
1.4	ガイド養成プログラム等において、ガイド中に自然災害が発生した際のガイドのとるべき対応についてとりいれている。		10		
1.5	ジオパークエリア全域を対象とした、地震、火山噴火、津波、風水害など、自然災害に関するハザードマップが作成、公開されている。		10		
1.6	ハザードマップが、拠点施設や旅館、ホテルなど、住民や観光客がすぐに見える場所に掲示されている。		10		
1.7	ジオパーク関係者やジオパーク活動に協力している人が、ハザードマップの意味や、気象情報や、観測データ等の情報を地域住民や観光客に伝えている。		10		
1.8	外国人観光客を対象とした多国語版の防災マップや外国語やISO基準の防災ピクトグラムで表記された避難誘導サイン等が作成・設置されている。		10		
<b>最大</b>			<b>80</b>	0	0
2. 他機関との連携について			配点	自己評価	評価者採点
2.1	ジオハザードに関する教育や減災強化のために、他機関との連携関係があるか。				
		自治体などの防災部局との連携	10		
		学校との連携	10		
		生涯教育施設等との連携	10		
		大学などの研究機関との連携	10		
		その他NPOなどとの連携	10		
2.2	行政の防災・減災に関する取り組みの中にジオパーク活動が位置付けられている（地域防災計画や火山防災協会など）。		10		
<b>最大</b>			<b>60</b>	0	0
3. ジオパークエリアで起こる（起きた）自然災害に関する教育活動の推進について			配点	自己評価	評価者採点
3.1	地元の学校で、ジオサイト等を活用した災害学習・防災教育が継続して行われている。		10		
3.2	地域住民に地域の自然災害を伝える社会教育事業が継続して行われている。		10		
<b>最大</b>			<b>20</b>	0	0
4. その他			配点	自己評価	評価者採点
4.1	ジオパークエリア内で自然災害が発生しそうなときや発生した時、気象庁や防災部署などから発信される公的な情報や、研究機関などと連携して作成した科学的情報を、ジオパークとして発信したことがあるか、発信する計画を持っている。		10		
4.2	近隣のジオパークで自然災害が発生した時、何らかの支援を行ったことがあるか、支援をする計画を持っている。		10		
4.3	自然災害が起きた際や起きそうな状況が見込まれた際、地域住民やガイドなどから提供を受けた災害情報を、公的な災害対応機関に伝達したことがあるか、伝達する仕組みがある。		10		
4.4	自然災害が起きた際、公的な災害対応機関や研究機関と連携して情報発信したり、学習会や説明会などを開催したことがあるか、情報発信する計画がある。		10		
<b>最大</b>			<b>40</b>	0	0

項目	解説	基準	配点	自己評価	評価者採点
			200	0	0